

# 事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

放課後等デイサービスひまわり

磐田駅前校

令和5年10月13日実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			パーティション等を使わず開放的に学習エリア・遊びエリアを分けている。活動内容によりレイアウト変更しスペースの確保が可能である。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			指定基準を満たした人員配置を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	建物の構造上階段や段差など改善が難しい。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			支援会議や交通安全に関する打ち合わせ等は全職員が出席し意見交換を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年1回のアンケート調査を実施している。いつでもなんでも相談いただけるようPRしている。校舎で改善できること、上申が必要なことに振り分け迅速な対応を心掛けている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			令和5年12月ホームページにて公開予定。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			令和5年9月に県の福祉指導課による実地指導を実施。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			安全意識向上のため四半期ごとにテーマを決め各自シートチェックを行い管理者に提出している。(テーマは交通関係が多い)今後はスペシャルラーニングを使い研修内容の幅を広げたい。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			6か月ごとにモニタリングを行い保護者からのニーズを聞き取りしている。職員会議を開き計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			HUGを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用児の得意・不得意を考慮し活動内容が偏らないよう注意している。マンネリ化を避けるため職員それぞれが「新しいモノ探し」の努力をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			⑫に加え、可能な限り午前と午後の活動を毛色の違ったものを組み合わせることにより、午前の失敗を引きずらないで午後に再チャレンジができるよう工夫している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			平日は下校時刻により集団での活動時間が満足に取れないことから休日には集団で楽しむ時間を作っている。集団活動が苦手な利用児が多く、抵抗なく参加できるカリキュラムを考える課題がある。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			当日深くかかわった職員がケース記録を書いている。その際必要に応じ他の職員にも情報共有している。小さな事でも気軽に発言ができるような雰囲気づくりをしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月ごとにモニタリングを行っている。また相談支援事業所とも密に連絡を取り合い必要に応じ見直しをしている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			行っている。偏った支援内容にならないよう気をつけている。	

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達管理責任者が出席している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		引き渡しにかかわるトラブル等発生時は迅速に対応している。また同じ問題を繰り返さないため学校や関係者とも今後の対応について先延ばしせず即時対策について依頼している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	該当する利用児がない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		気になることがあれば情報共有し助けていただいている。今後もよい関係が築けるよう努力していきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当する利用児がない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	研修を受けていない。参加できるものがあれば参加したい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	コロナ感染やインフルエンザ感染を心配し交流を望まない保護者が多いため、今のところ考えていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	参加したことがない。また参加する場所や方法について知らない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		良いことも悪いことも職員の対応についても正確に伝えている。隠さないことで今の子どもの状況を共有したり保護者の本音を聞き、自らの対応の仕方についても振り返ることができる。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		年2回保護者会を開催している。なるべく多くの保護者に参加していただけるようニーズに合致した話題を提供できるよう事前に分析が必要。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時また改定や変更のある都度行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者のSOSに気付けるよう普段からコミュニケーションを取るよう心掛けている。必要とされている機会を逃さないこと、相談内容に知識の長けている職員と複数名で相談を受けるようにしている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		年2回の保護者会とひまわり夏まつりで保護者同士のふれあいの場を提供している。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		対応の遅れや言葉一つで関係が悪化することを職員全員が肝に銘じている。業務マニュアルに沿って対応する。（現在抱えている案件なし。）
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		年4回のひまわり通信発行とインスタグラムへの投稿を行っている。またその他連絡事項はお便りを作成している。HUGによるお知らせ周知も近日中に開始予定。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○		利用児の個人ファイルは常時施錠。また職員執務室への立ち入りは職員以外禁止している。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		口頭や連絡帳または電子メールなど保護者や家庭環境に応じた連絡方法を選んでいる。言葉での意思表示が難しい利用児には二者一択など追い詰めることがないよう優しい対応を心掛けている。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	招待したことはないが事業所周辺のゴミ拾いや草むしりなどを職員、利用児とで行っている。また近所の方への自然なあいさつも指導している。
	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		契約時行っている。

非常事等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回防災訓練を行っている。地域がら地震を想定した訓練が多く実施していた。今年度は火災を想定した訓練を10月に実施済み。(県の実地指導にて指摘あり。)
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年1回以上の虐待防止研修に全職員が参加済み。今年度よりスペシャルラーニングを視聴しての意見交換を行った。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	対象の利用児がいないが、身体拘束についての初回学習会を11月に開催予定。(県の実地指導にて指摘あり。)
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時保護者に対し利用児の食物アレルギーについて書面で提出いただいている。また食事を提供する際、事前に材料等を全保護者にお便りにて周知している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		共有している。また管理者自らが率先しヒヤリハットを起票することにより職員の「気付き」を促すようにしている。